

平成22年度CSI委託事業報告交流会成果報告

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

一橋大学学術・図書部学術システム課

<https://hdl.handle.net/2324/19740>

出版情報：2011-06-13
バージョン：
権利関係：

「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」

平成22年度成果「教員問合せシステム等の開発と
著作権処理の標準化」について

平成22年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）
平成23年6月13日

九州大学附属図書館 eリソースサービス室リポジトリ係 吉松直美
一橋大学 学術・図書部学術システム課 コンテンツ主担当 阪口幸治

背景

【担当者の声】

「アプローチから登録までの作業は一つ一つ進捗も違う。一番大変なのは、やっぱり著作権処理。みんな、どうやって管理しているの？」

プレスリリース掲載の先生へ著作権情報を含めて「論文PDF」を下さいとお便りすると直ぐに返事とPDFが来る！アプローチをもっとしたいけど、なかなか手がとれない...

【先生の声】「やっぱりセルフアーカイビングは面倒だ！メタデータ入力は大変だ。」

みんなの負担が軽くなりみんなが使えるシステム化出来ないだろうか？

人材の進化 そして次のCSIへのチャレンジ...

現状の課題を解析し、解決・改善しようと
チャレンジする力
情報技術に対して学び、活用していこうと
する力



連携し
アイデアを形に

平成21年度CSI報告交流会スライドから

自動収集・登録ワークフロー システムの開発

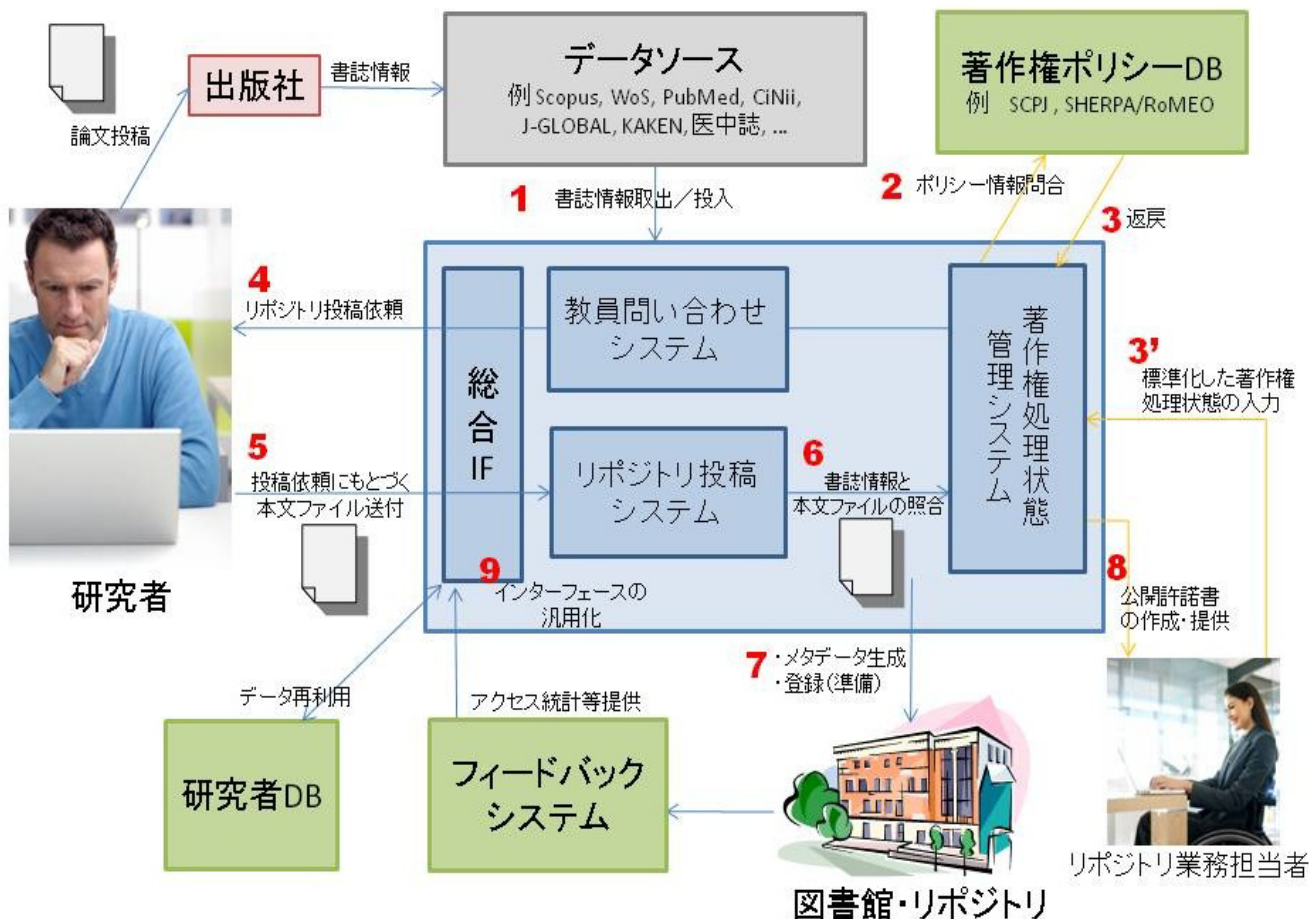


目的と全体像

リポジトリへの登録の促進

登録者への負担の少ないセルフアーカイビングの実現
IR担当者のワークフローの標準化
一連のデポジットの流れの自動化

まずは
雑誌論文について



自動収集・登録ワークフロー
システムの開発

計 画

平成22年度

成果

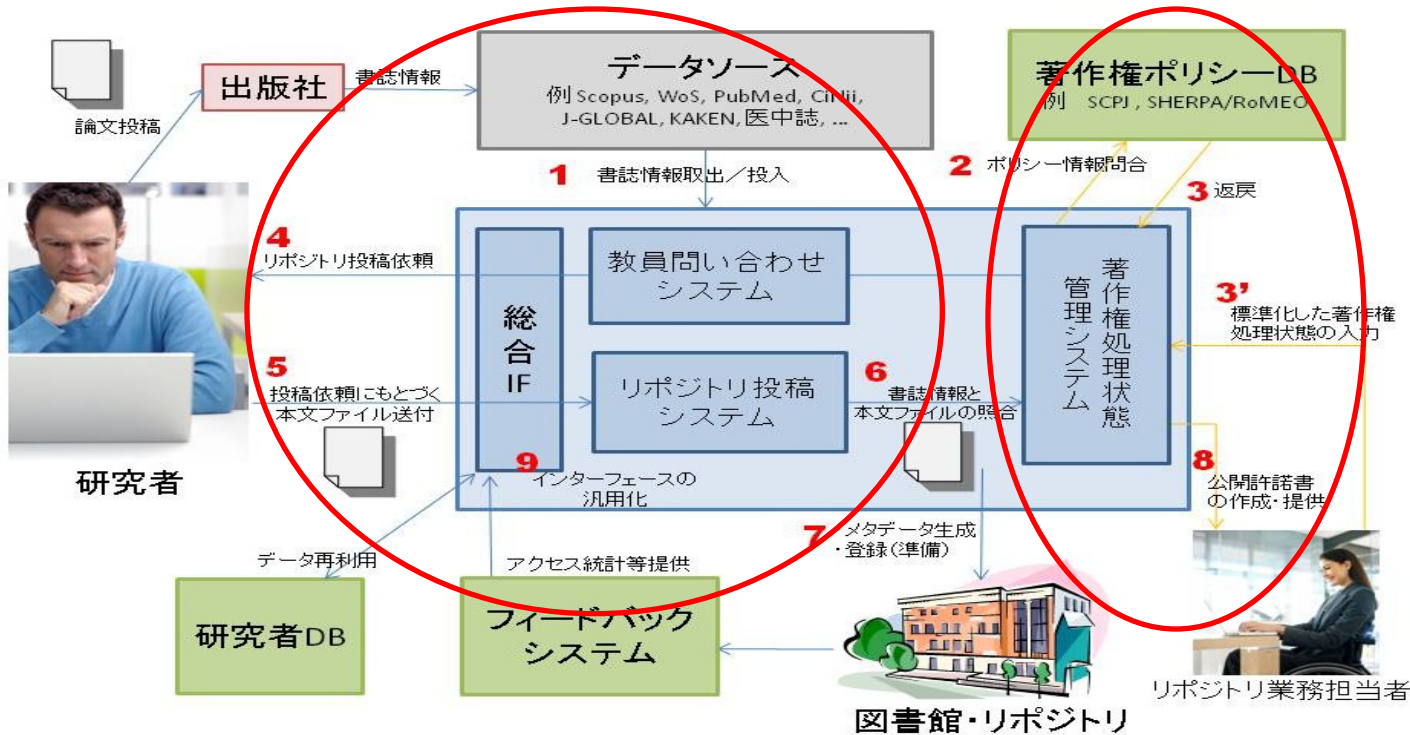
教員問合せシステム・リポジトリ投稿システムの開発
雑誌論文の著作権処理の標準化
著作権処理状態管理システムの開発仕様案の作成

平成23年度

著作権処理状態管理システムの開発

平成24年度

システム群の検証・評価・改善
他システムとの連携や研究者へのフィードバックも



自動収集・登録ワークフロー

システムの開発



教員問合せシステム・リポジトリ投稿システムの開発

< 教員問合せシステム[A] >

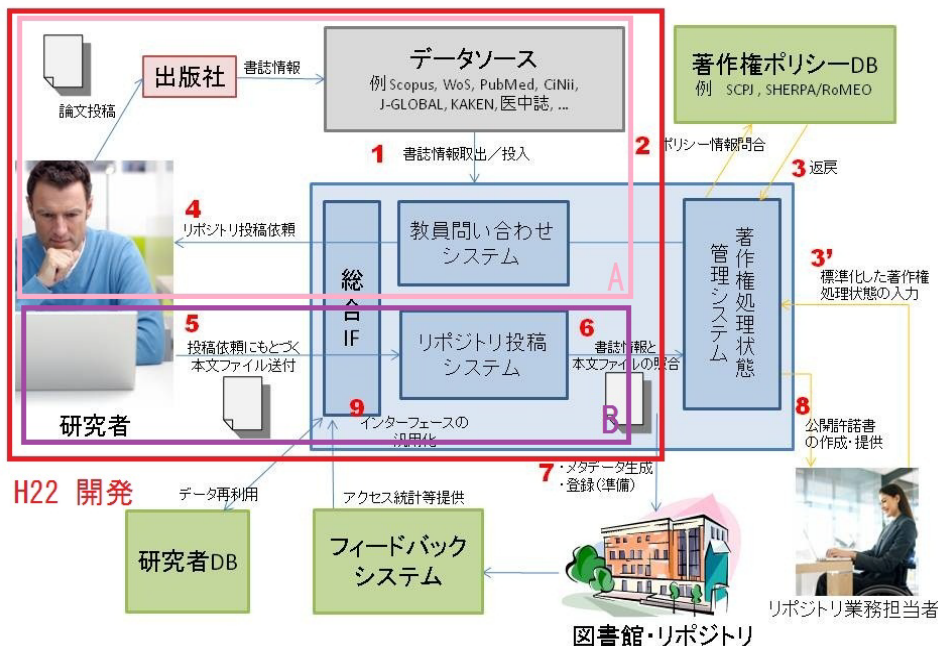
機関リポジトリへの登録の候補として、外部データソースから、当該研究機関の研究者によって発表された研究結果の情報を得る(図フロー1)。そして、この情報を基に、研究者へのリポジトリ投稿依頼を行う(図フロー4)。実際には、投稿依頼の前に著作権ポリシー等の情報が必要(図フロー2, 3)となるので、22年度はこの部分は手動入力とし、一連の流れの開発を行った。

< リポジトリ投稿システム[B] >

研究者からの投稿依頼と本文ファイルの投稿を受け付ける(図フロー5)システムを開発した。

図

文献自動収集・登録ワークフローシステム



課題

- ▶ 各種データソースの交渉と検討の継続
- ▶ 著者や論文の名寄せ
- ▶ システムの汎用化
- ▶ 著作権処理状態システムとの連携

自動収集・登録ワークフロー

システムの開発

